

# 放置竹林・竹課題解決事業に関するアンケート

## ～持続的な組織と地域づくりを目指して～

### 実施報告書

2024年11月  
一般社団法人 SINKa

# 放置竹林・竹課題解決事業に関するアンケート

## 報告書

九州では多くの団体がSDGsに取り組み、地域・企業の持続的な発展を目指し社会の諸課題にチャレンジしていただいています。SINKaでも休眠預金等活用制度に基づく「資金分配団体」として市民公益活動団体への支援を実施し、九州の社会的(地域)課題を解決しての、暮らし向上に向けて取り組んでおります。

SINKaではこれまで、森林や竹に関する課題に取り組み、「Takebito」ブランドによる竹製品の商品化と販売モデル構築に携わってきた他、休眠預金事業の実行団体候補にも竹事業の関係者が多く存在しています。

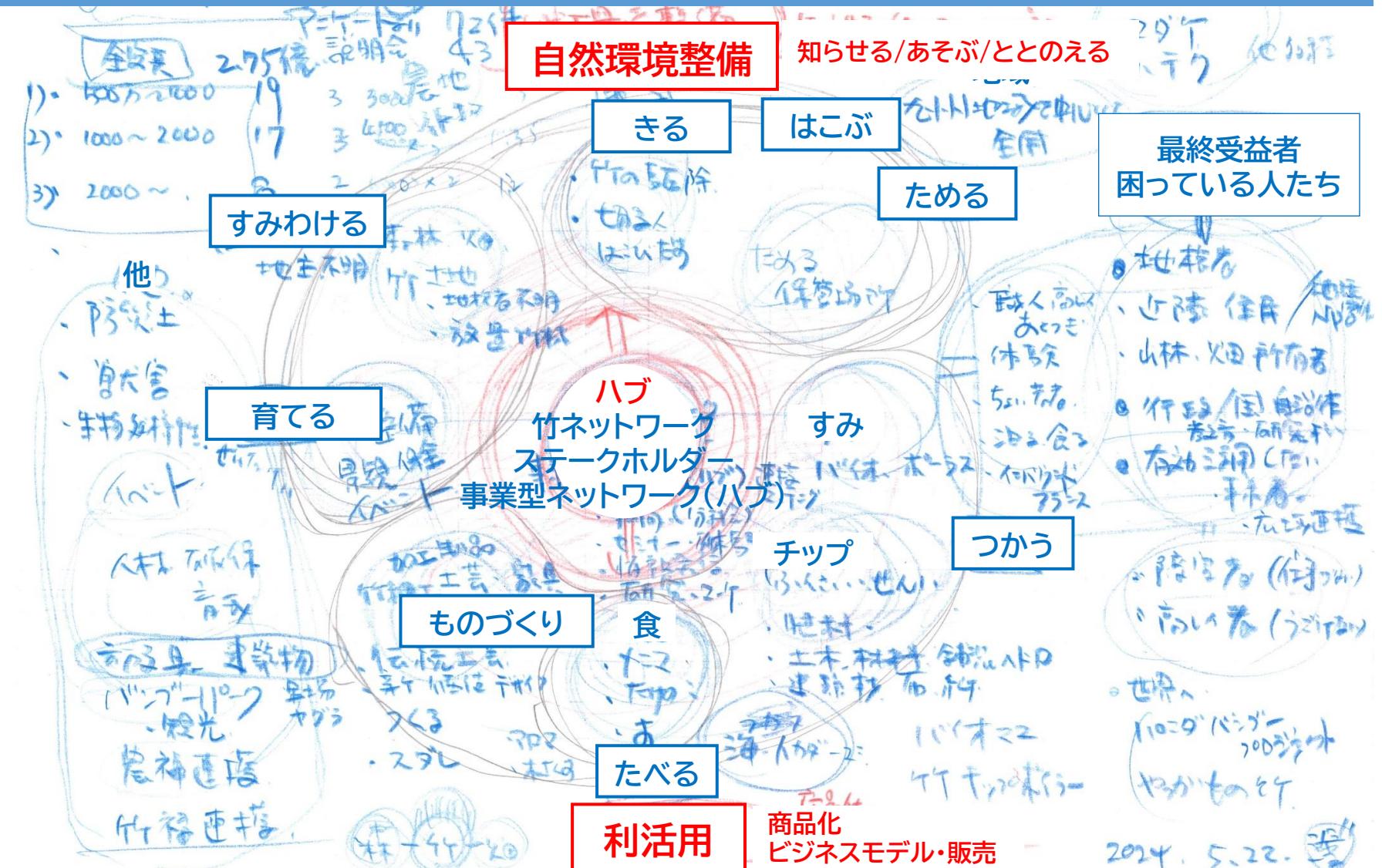
このたび、九州の農林水産業中心の暮らし、森林・竹関連への关心や相談も増えていることから、日頃から竹事業に係られている団体や企業に対して、休眠預金等活用事業に関し実行団体としての要望があるのか等、資金分配団体としての案件形成の課題特定に活かすことを目的に、事業の実態と意識に関するアンケート調査を実施しました。

### 調査概要

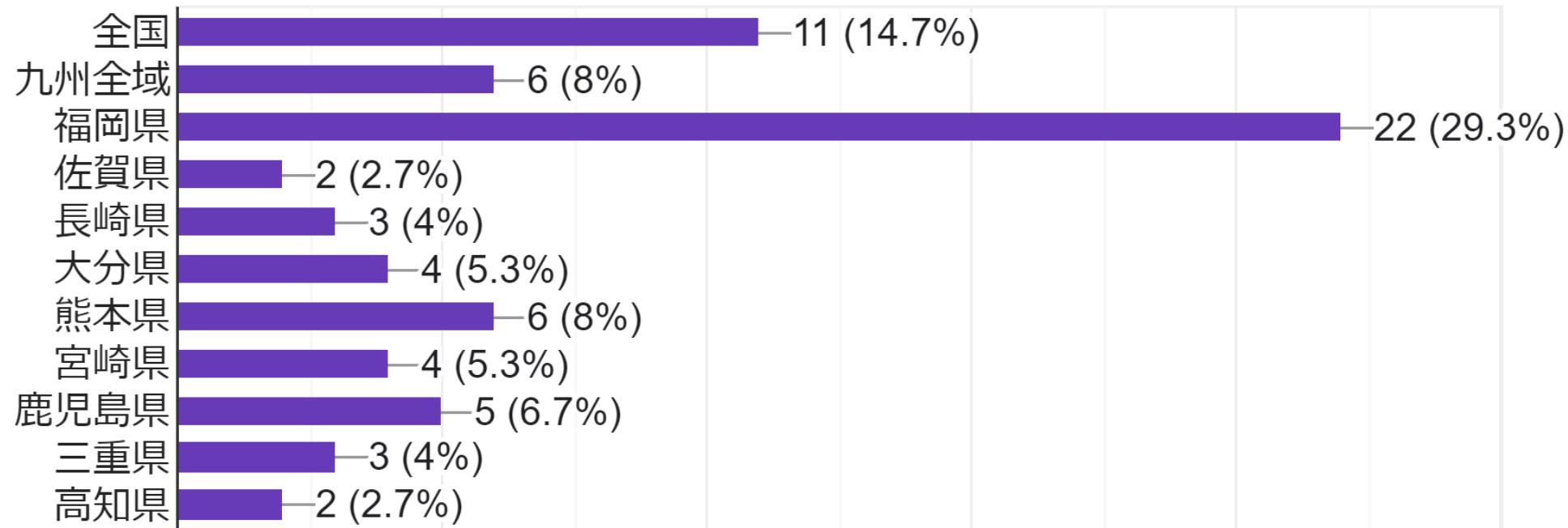
- ◆ 対象:福岡県および九州全域で、放置竹林対策や竹資源活用事業に携わっている団体、企業、行政関係者など
- ◆ 実施期間:2024年5月
- ◆ 実施方法:インターネットを利用して、Googleフォームへの入力による
- ◆ 周知方法:これまでに関わってきた竹、森、農、地域づくり関係団体、休眠預金団体への配信、SINKaのHPやFacebookによる依頼
- ◆ 実施主体:一般社団法人 SINKa
- ◆ 回答総数:72件

アンケートへのご回答ありがとうございました。ご報告が遅れましたことをお詫び申し上げます。

# 竹課題解決事業マンダラ



## Q1 あなたの活動できる地域を教えてください(複数回答)



その他 奈良、山陰、京都、関西滋賀、愛知、静岡、三重、千葉、大阪、岐阜、岡山、栃木、茨城、群馬、北海道青森、山形、徳島、愛媛、鳥取、中国、韓国、神奈川、東京、岩手、他

## Q2 地域での放置竹林・竹害に関する『課題』は何ですか、具体的に教えてください。

### ◇竹林整備関連

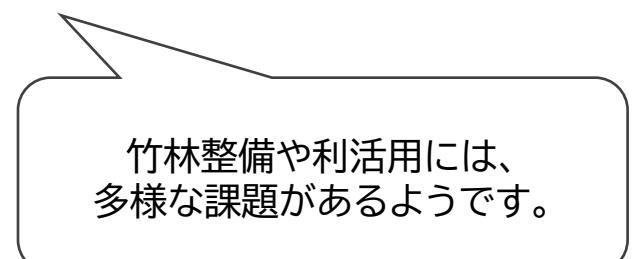
- 竹林管理者の高齢化、地権者不明(直ぐに分からぬ状況)、解決するための資金・人手・知見不足(4)
- 補助金が切れた後整備した竹林の維持・管理を行うための資金不足が課題(2)
- 河川敷の放置竹林による漁業権の侵害
- 焼却できなくて、枯れた竹の処理が粉碎機が積んでおくことしかできないことが多いこと。
- 放置竹林がそのままになることで、野生動物の住処になり田畠や近隣に住む方への被害がでる
- 市街化区域での放置竹林の増加
- 竹の所有者が民間であり自治体レベルで解決策が限定される
- 単一の植生による生物多様性の阻害
- 竹林整備に時間と労力を割いても見合った収益にならない。

### ◇竹の利活用関連

- 継続して利用する仕組みがない
- 伐採した竹の大規模産業レベルのサプライチェーンが形成されていない
- イベント時に合わせた切り出しが大変苦労している
- 竹パウダーなどに加工しても利用が少ないため収益に繋がらない

### ◇その他

- 竹に対する知識が不足している



竹林整備や利活用には、  
多様な課題があるようです。

### Q3 課題で困ってる方(最終受益者)は、どんな方ですか？

#### ◇所有者関連

- 地権者様、竹林近辺の居住者様(2)
- 放置竹林の隣接地の所有者

#### ◇居住者関連

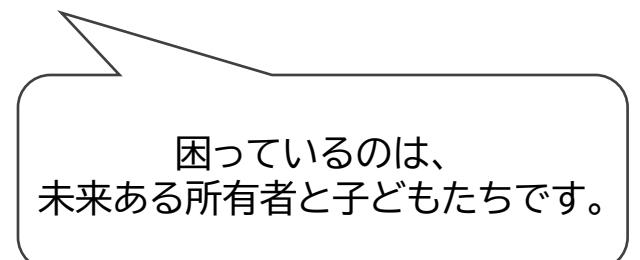
- 里山を愛する、子供も含めた人たち。(6)
- 竹林の地主さん、災害対策軽減による地域住民全員
- 放置竹林周りの田畠の農家、放置竹林周りの民家の方々

#### ◇竹関連活動団体

- 利害関係のある利用者(NPO法人や一般利用顧客)(3)

#### ◇その他

- 1. 行政側 2. タケノコ農家
- 出口・販売
- 放置竹林を管理し竹材を供給される方、若しくは企業・団体及び、道路や送電線等のインフラを使用されている企業等



困っているのは、  
未来ある所有者と子どもたちです。

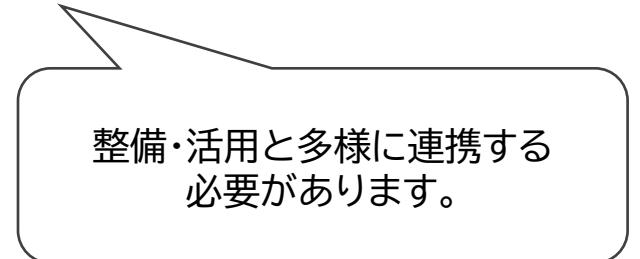
## Q4 解決するために自らできる『活動』を具体的に教えてください。(1)

### ◇整備関連

- 放置竹林の現状と課題感の流布、地権者様と解決方法のマッチング
- 自分の竹林を整備するので精一杯(2)
- 地権者に代わって竹林の整備にあたる、その後の竹利用につなぐ(9)
- 竹林整備を収益化できるよう実験を続けている。
- 自治体と協力していく(2)
- 竹林の管理方法のマニュアル化と実例
- 放置竹林防止に向けてタケノコ生産の担い手・就労機会の確保、放置竹林伐採・搬出する活動の担い手確保、放置竹林伐採・搬出や放置竹林対策に向けた国・県の支援、竹材を利用した高付加価値の製品化(2)

### ◇活用関連

- 竹のインターパリターとして、竹細工講座を通じてお話をし、認識を変えて頂く様にしている。
- 筍を食べる・美味しさを広める・竹林整備(そんなにやりたくない笑)
- 事業利用を促進するための活動(5)
- 竹林整備を兼ねた竹あかりイベントを計画(2)
- 竹の再利用(2)
- 竹発電プラントの建設、発電事業の実施
- 土木構造物に活用を促進しています



整備・活用と多様に連携する  
必要があります。

## Q4 解決するために自らできる『活動』を具体的に教えてください。(2)

### ◇加工関連

- 国産メンマの販売。ポーラス炭の販売。(2)
- 地域バイオマス企業の燃料一部確保のための里山整備
- 竹チップボイラーの導入
- 放置竹林を伐採、粉碎して、畠の土壤改良や、草抑え、他に、竹舗装工事を行う。(3)
- バンブーパークと言う公園のため竹林の美化と再生をテーマに枯れた竹や伐採した竹は粉碎機により竹チップや竹パウダーに加工し販売
- 粉碎機を導入して、伐採&処分までを仕事化している、またその仕事を福祉就労事業所の仕事づくりにしている(2)

### ◇竹に関するハブ機能

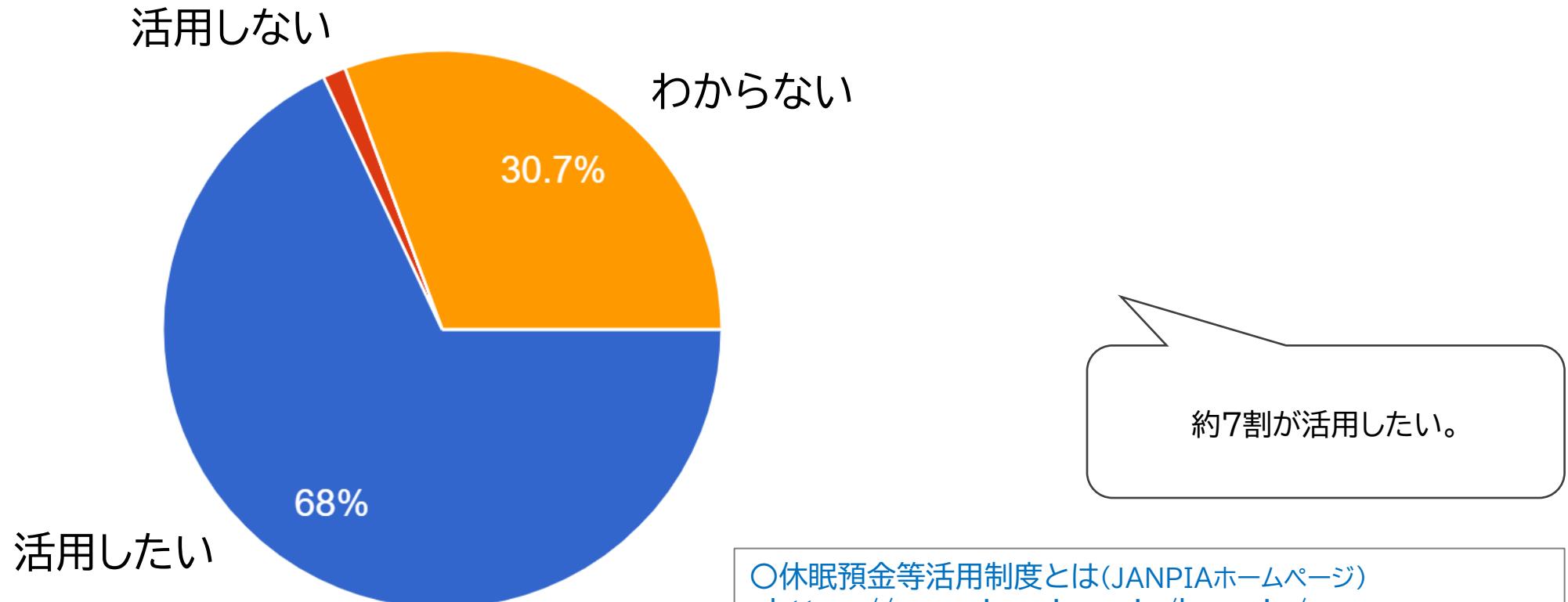
- 竹の間伐、伐材の搬出と資源化、竹に関する当該地域への研修・WSなど
- 竹の種類別の活用方法やそれから生まれる商品、製品の情報収集。
- 竹林管理全般を事業化し、若い人の就業可能性を広げる
- 林業全体を理解した政治家を送り出すこと。
- SNSで竹林利用を促進する

### ◇その他

- 竹輸入禁止 これは竹だけでなく森林に関する物全てにおいて何らかの課税等の検討
- 竹林内の建材用にする素材化及び地域福祉活動との連携
- 簡単にできることは、里山保全を実施している団体の活動へ参加することです。それ以外では常に地球環境を意識した生活習慣ですかね。

竹活用の事業化と  
人材確保が課題です。

## Q5 休眠預金等活用事業など、民間資金を民間公益活動に使える仕組みを活用したいですか。



○休眠預金等活用制度とは(JANPIAホームページ)  
<https://www.janpia.or.jp/kyumin/>

○SINKaの休眠預金活用事業実績は(SINKaホームページ)  
<https://www.sinkweb.net/2024/12/sb3-1.html>

## Q6 活用したい場合の『事業(活動)』はどのようなものか具体的に教えてください。(1)

### ◇整備関連

- 地権者様と解決方法のマッチングと持続可能なシステムの構築
- 広葉樹を中心とした森づくり
- 竹林の伐採・管理、筍堀などのイベント、幼竹を使った国産メンマ製造
- アルバイトもしくはボランティアを募り整備を行い、同じように竹林整備を行う団体とネットワークをつなぎ竹利用の道を開拓する
- 放置竹林となっている竹林の伐採、整備と、地域ごとに竹事業関係者のネットワークを創り、必要な人が必要なだけ、竹が使えるようにする。
- 竹林整備と間伐竹を活用した観光イベント開催。間伐竹を活用した製品開発。(2)

### ◇活用関連

- 竹の間伐、伐材の搬出と資源化、竹に関する当該地域への研修・WSなど
- 竹林整備を兼ねた竹あかりイベント。竹処理に必要な粉碎機
- 牡蠣養殖用パイプの加工施設の確保(高齢者、障がい者の作業場所)、牡蠣いかだ廃竹材の炭化施設の確保(可能なら沿岸部に)
- 伐採時に廃棄される竹の枝葉を利活用した商品開発(2)
- 放棄地田んぼの陸上養殖、薬草など害虫がつきにくい簡単な一次産業
- 農福連携に関する設備や環境整備(2)
- 竹遊具製作講座の実施(自然環境保全の大切さを特に子供たちへ理解を深めていく)。
- 身の回りにある竹を使った防災キャンプの実施。竹を用いた獣害対策の道具製作と農地での活用。

複合的な活動が必要です。

## Q6 活用したい場合の『事業(活動)』はどのようなものか具体的に教えてください。(2)

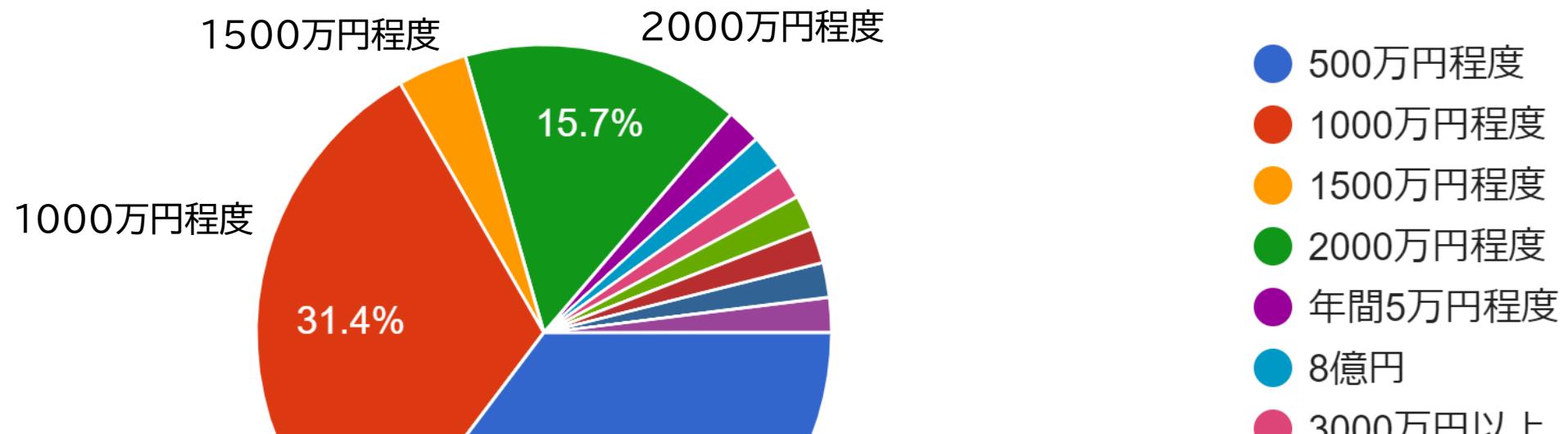
### ◇加工関連

- 国産メンマ・ポーラス炭の販売力強化(商品開発、営業活動、販促活動)
- 竹パウダーの生ゴミを分解するコンポストの作成など
- 竹チップボイラーの導入
- 孟宗竹ホルモンの医学的利活用の研究開発・実証試験
- 産業廃棄物として扱われる竹資源の、農業肥料／飼料、建設材料(敷設材)への利活用
- 竹チップを熱分解ガス化してガスエンジンで発電する事業
- 放置竹林の竹材をマテリアルとした、土木工事や地盤補強工事
- 放置もしくは管理できない竹林の竹を切らせていただき、竹チップの土壤改良剤を作り、地元農家へ還元する。田畠の土づくりに活用。
- 竹を材料とするバイオ炭の生成とそれを活用した農業
- 竹害の影響がある森林の保護。竹チップを活用した有機野菜による地元農業の活性化。障害者が炭化装置を使って作った竹炭の販売。

### ◇竹に関するハブ機能

- 全く捨てる所の無い竹を、皆が活用できる「術」を広める。
- 竹林の雑誌(フリーペーパー誌)を発行する。
- 竹害について地域住民、市外の方々など多くの人たちに知ってもらう周知活動。

Q7 3年間事業ですが、『事業費』は、1年間の希望金額を教えてください。



500万～1,000万の  
小規模事業が多数です。

## Q8 また、その時の費目はなんですか。

### ◇整備関連

- 整備機材の購入、整備・講師などの人件費、地権者様と竹事業のマッチングの為のシステム構築費用
- 整備のための資材購入ほか、竹の伐採、運搬、粉碎の入件費、竹粉碎機の購入と維持費、コンポストの袋詰め機械購入、袋詰め、発送、事務
- 人件費、コンポストの箱の制作費、作業労働費、イノシシ防除用具費、販促費、作業場設置費
- 伐採していただいた人への人件費、設備導入費、宣伝広告費(4)
- 雑誌の編集印刷配布。竹林管理実践モデル事業化。機材、資材の購入。及び人件費、事務費。

### ◇活用関連

- 商品開発費用、全国各地への営業活動のための旅費交通費、販促物購入(印刷費、デザイン等の外部委託費)。
- イベント遂行に要する費用
- 竹の搬入用の車(レンタカー)と資材置き場用の整備費用。竹引きノコギリの補充
- チェンソー・粉碎機・竹あかり刃物、道具
- 出口戦略を考えた上でのマーケティング費用が大半と考えています。

### ◇加工関連

- ボイラーの購入費及び焼却灰の処分費用
- バイオマスプラスチック混合溶融装置利用料及び竹材・樹脂調達費・人件費他、孟宗竹ホルモン利活用の产学共同研究費、材料費、人件費
- 研究開発・実験・分析費用、竹資源保管ヤード建設費、自動枝扫い機、乾燥機など設備投資
- 発電プラント建設費
- 竹材をマテリアルとした地盤補強材の開発・研究費

## Q9 これまで活用した補助金、助成金事業(休眠預金事業含む)があれば教えてください。

- 森林・山村多面的機能発揮対策交付金(4)
- セブンイレブン記念財団(2)
- 地方創生事業(2)
- 休眠預金事業(2)
- ヤンマー資源機構(株)の助成金
- 久光製薬活動助成事業
- 市民参加型竹林管理モデル実証事業
- 森林環境税を利用した県民参加の森づくり事業
- 農山漁村6次産業化対策事業補助金 ●6次産業化・新産業創出促進事業
- 緑と水の森林ファンド事業 ●内田エネルギー化学振興財団
- 広島県の森づくり事業 ●温暖化対策活動促進補助金 ●元気さとやま応援プロジェクト補助金
- 吉野川市の助成金 ●千葉市清掃活動助成金
- 地元企業の助成金 ●ものづくり補助金
- 地域課題解決型創業支援補助金 ●地域づくりハンズオン支援事業 ●空き家対策モデル事業
- GFPグローバル産地づくり推進事業 ●JAPANブランド育成支援等事業
- 九州オープンイノベーションセンター助成事業 ●第3回SDGsスカラシップ岩佐賞(環境の部)
- 小規模事業者持続化給付金

国、民間財団とともに  
使える予算はありますが、  
竹に特化したものはありません。

## Q10 休眠預金等活用事業についての、説明会や意見交換会があれば、参加を希望しますか。



参加したい

参加は希望しない

- 参加したい
- 参加は希望しない
- 内容によります。
- 日時、場所、内容により検討いたします。
- ズーム希望します
- ZOOM等、ネット会議なら参加しやすい

約8割が参加を希望しています。

## まとめとして

回答いただいた「竹課題解決事業」について、「自然環境整備」と「竹資源利活用」の2つの方向で整理し、課題をとらえてみた。

放置竹林・竹害に関する課題は、環境整備に関しては人手不足と資金不足が大きく、それにより地域での獣害や生物多様性の阻害という社会的な問題が発生している。また利活用に関しては、活用するための労力や仕組みがなく、活用しても収益にならないのが現状である。

竹害で困っている人は、竹林の所有者や周辺の居住者ばかりでなく地域社会全体へ拡大しており、竹害対策の活動をしている団体までも最終受益者としてとらえられている。

課題解決のために行われている活動としては、竹の伐採や処分といった整備面のものが多く、被害への対応に追われている現状が見られる。また、竹を資源として活用を進めている団体もあるが、メンマや竹炭以外に多様な用途はあるものの、中核となる事業化には至っていない。

休眠預金等活用事業については、3分の2以上の団体が活用への関心を寄せている。情報不足による「わからない」との回答を含めると、ほぼ全ての団体が活用したいと回答している。

しかし、助成金を活用して行いたい事業内容は、竹林整備や竹材の活用といった、現在の事業の運営強化にとどまっているものが多く、希望する事業費も年間1,000万円以下が3分の2を占めているため、休眠預金等活用事業の対象としては難しいと思われる。

「竹課題解決」を事業化して成果とするためには、単独団体での活動から地域内での多様な領域との連携や、他地域とのネットワーク構築により、調査、研究と革新的な事業構築が求められており、そこに休眠預金のような資金投下が必要と言える。

竹事業だけでなく、農林水産業・暮らし全般に広く目を向けた案件形成に向かいたい。



～人々が集い 感動できる豊かな地域社会を 子どもたちにつなぎたい～

本件に関するお問い合わせ先  
一般社団法人SINKa

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目3番14号 小榎ビル3F  
e-mail:info@sinkweb.net